

# 発達障害・精神・神経疾患ブレインバンク

大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

子どものこころの分子統御機構研究センター  
ブレインバンク・バイオリソース部門・

医学系研究科 神経内科学（兼）

常勤特任教授

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク(神経病理)（クロスアポイント）

常勤特任研究員

村山繁雄

# 日本ブレインバンクネットワーク関西拠点

発達障害・精神・神経疾患ブレインバンク

大阪大学大学院 連合小児発達学研究所ブレインバンク・バイオリソース部門

大阪大学  
連合小児・脳神経内科  
精神科・病理学教室

大阪刀根山医療  
センター・  
宇多野病院  
神戸市民医療セ

大阪大学法医学教室  
大阪府監察医事務所

大阪大学司法解剖  
死後脳レジストリ  
自殺、小児、突然死

大阪母子医療  
センター

発達障害ゲノム・  
不死化細胞、  
iPsリソース

生前献脳同意

前頭・側頭型認知症 筋ジストロフィー  
パーキンソン病、レビー小体型認知症  
進行性核上性麻痺、皮質基底核変性症  
筋萎縮性側索硬化症 多系統萎縮症  
アルツハイマー病 多発性硬化症

日本版  
Suicide Bank、Sudden Death  
Bank  
Autism Brain Net

日本神経病理学会ブレインバンク委員会

# 日本神経病理学会ブレインバンク委員会

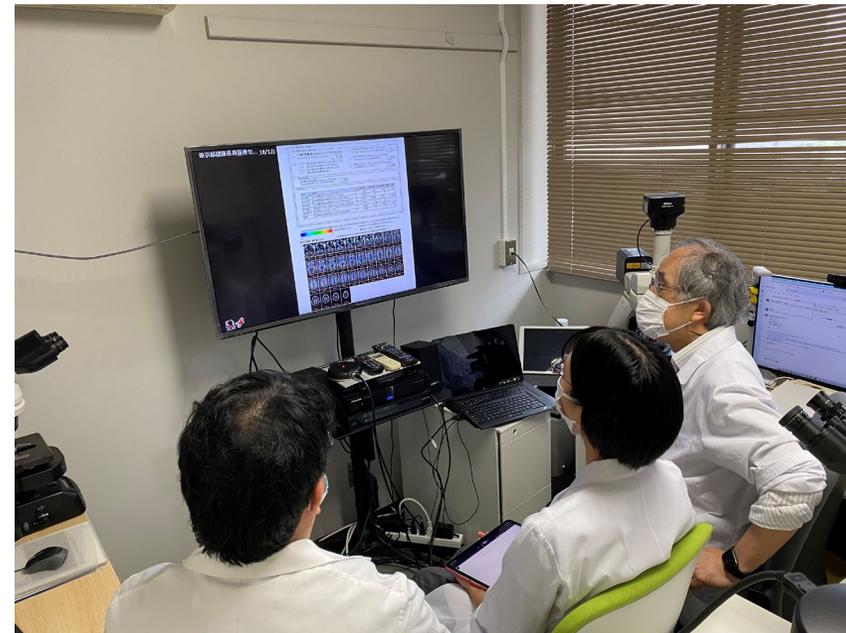
委員長：村山繁雄 (阪大連合小児・健康長寿)

- 足立 正 (鳥取大学)
- 和泉唯信 (徳島大学)
- 伊東恭子 (京都府立医大)
- 井上貴美子 (NHO刀根山)
- 大島健一 (都立松沢)
- 入谷 修司 (名大精神)
- 大島健一 (都立松沢病院)
- 金田大太 (福祉村)
- 國井泰人 (東北大)
- 小森隆司 (都立神経病院)
- 古和久朋 (神戸大)
- 齊藤祐子 (健康長寿)
- 清水 宏 (新潟脳研)
- 鈴木博義 (国立仙台医療セ)
- 高尾昌樹 (国立精神・神経)
- 谷川 聖 (北海道大学)
- 谷口大祐 (順天神内・留学中)
- 西田尚樹 (富山法医)
- 西村広建 (川崎医大)
- 古田拓也 (久留米大)
- 別宮豪一 (阪大神内)
- 松本博志 (阪大法医)
- 三木康生 (弘前大)
- 山田光則 (信州大)
- 横田 修 (岡山きのこ)
- 吉田真理 (愛知医大加齢研)
- 放射線：徳丸阿耶 (健康長寿)  
櫻井圭太 (東名古屋)
- 生化学：長谷川成人 (都医学研)
- ゲノム：池内健 (新潟脳研)

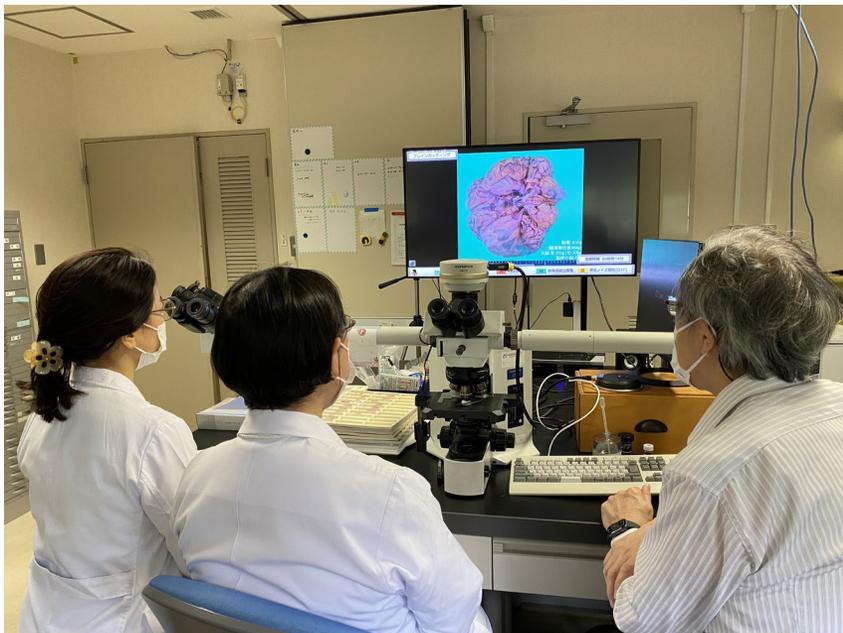
# ネットワークスライドカンファランス（毎週木曜日午前）



健康長寿



阪大



刀根山

@順天堂大学

@東京科学大学

@台湾大学

# 本邦ブレインバンクの優位性

1. 欧米ブレインバンクが脳のみのリカバリーであるのに対し、本邦ブレインバンクは全身剖検を元に、脳だけでなく、脊髄、末梢神経、筋肉を含む、全身臓器リソースを有する。
2. 欧米ブレインバンクでは、神経病理所見が、Ph.D.ないし候補研究者による research only finding で、潜在バイアスがある。本邦では全身病理剖検診断の中の神経病理診断であり、日本人の真面目さもあいまって、信頼性が担保されている。
3. 欧米ブレインバンクではリソースの蒐集、管理、提供が技師任せであるのに対し、本邦では神経病理専門医が担当している。
4. プリオン病サーベイランスの伝統で、臨床症状、髄液バイオマーカー、遺伝子診断、画像、剖検脳の Western blot と immuno EM、免疫組織化学が、神経変性疾患の基盤となっている

# 司法解剖との連携

米国神経病理学会年次総会では法医学スペシャルコースが毎年あり  
NIH Neurobiobank: Maryland, Harvard, Autism Net

- 自殺レジストリ、若年突然死レジストリ、小児症例レジストリの構築  
阪大法医 田中さやか 助教  
死後三日以内、固定期間1カ月以内  
凍結部位、標本部位の検討中  
乳児例86例を検討開始
- 愛知医大加齢研 宮原 弘明 特任教授  
愛知医大法医学教室剖検例の脳の神経病理診断を受託
- 富山大学法医学 一萬田 正二郎 助教  
ブレインリサーチリソースセンター

宮原先生の希望で法医神経病理勉強会を立ち上げる予定

# 大阪健康長寿医科学センター

- 大阪公立大学 樋口 真人 教授が責任者
- 「病院」「研究所」「介護老人保健施設」を一体化した大規模な高齢者医療・研究拠点
- ブレインバンクを併設予定
- 特任教授として構築準備中

# 二点の問題点

- 国際ブレインバンクネットワークへの参加要請
  - 死体解剖保存法により、死後脳は最終的にご遺族のproperty
  - 死後脳と動物脳が異なる欧米とは一線を画する
- 本邦ではブレインバンク登録の前提に、主治医のご遺族剖検同意が必要なので、剖検取得臨床施設にも管理権があるとの主張
  - 剖検同意にブレインバンク同意を含ませる
  - 神経病理診断援助の時に、標本を、診断用と研究用2セットつくり、研究用をブレインバンクで保管する。

# ブレインバンク・バイオリソース部門、大阪大学連合大学院 (2025)

## 発達障害・精神・神経疾患ブレインバンク

責任者: 村山繁雄

兼務 (神経内科)

別宮 豪一

大学院生 (脳神経内科)

前田 健一郎

兼務 (連合小児)

片山 泰一  
毛利 育子  
橘 雅哉

兼務 (法医学教室)

松本 博志  
田中 さやか



<https://brainbank-kansai.jp/>